

東京都議会議員 高木けい

都議会レポート Vol.10

昨年 8 月から本年 7 月まで、私は都議会自民党政調会長として、都政の多岐にわたる政策決定に携わってきました。これもひとえに、皆様方のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。当レポートでは、実現した政策の一端をご報告申し上げます。

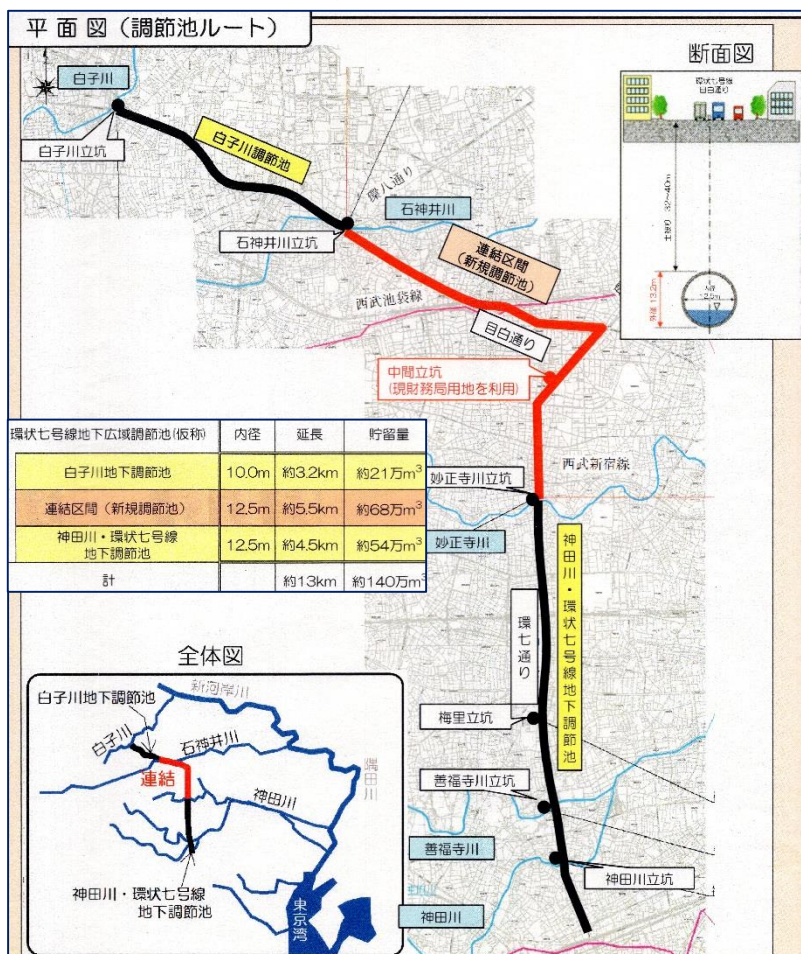
■風水害への備えを忘れてはならない

去る 9 月 10 日未明、集中豪雨により決壊した鬼怒川の水害は、茨城県常総市を中心に甚大な被害をもたらしました。こうした水害を目の当たりにするにつけ、東京の都市河川対策もつくづく他人ごとではないと感じます。

地元北区の石神井川は、平成 17 年 9 月と平成 22 年 7 月に、滝野川・王子・堀船・豊島地区を襲う水害を発生させました。水害防止の根本的対策は、河川に流入する水の量を調節する「流量調節機能」を持つことです。これは「調節池(ちょうせつち)」と言われるもので、一時的に雨水を貯めるタンクです。東京都では、神田川・善福寺川・妙正寺川流域の水害をなくすためにつくられた神田川・環七地下調節池(内径 12.5 ㍍・延長 4.5 ㍍・貯留量 54 万 m³)が有名ですが、石神井川の対策も現在着々と進められています。例えば、石神井川と白子川を繋ぐ「白子川地下調節池」(内径 10 ㍍・延長 3.2 ㍍・貯留量 21 万 m³)は、もともと白子川流域の浸水対策のために計画されたものですが、石神井川からも水を入れられるよう設計変更し、平成 32 年度の完成を目指して、いま工事が急ピッチで進められています。また、(仮称)石神井川中流調節池(都立城北公園付近に設置予定・総貯留量 25 万 m³)の建設計画も、平成 36 年度に第一期分(貯留量 10 万 m³)の完成を目指して昨年度からスタートしました。

■いよいよ広域調節池がつくれます(右図)

東京都ではこうした単独河川の対策と共に、調節池



同士をつなげてより広域的・機能的に浸水対策を講じることができるよう、先般、白子川地下調節池と神田川・環七地下調節池を連結し、(仮称)環状七号線地下広域調節池の建設を決定しました(1 ページ図の赤線部分)。この調節池が完成すると、総延長 13 ㎞、総貯留量 140 万 m³の地下調節池が出来上がります(平成 37 年度完成予定)。東京の治水安全度を向上させ、地元北区の治水対策を進める上からも、私はこうした事業にこれからもしっかりと取り組んでいきたいと考えます。

■石神井川の水質改善も急務

石神井川は、東京都小平市の小金井ゴルフ場付近を水源とし、北区堀船で隅田川にそそぐ全長 25.2 ㎞の典型的な都市河川です。高低差がほとんどなく、かつ感潮河川(流速や水位が潮の干満の影響を受けて変動する河川)となる王子駅下から隅田川にそそぐ約 1.2 ㎞の水質が、かねてより非常に悪いと指摘されてきました。石神井川の水質改善は、高濃度酸素の注入や流水装置の設置など、今までも様々な実験が行われてきましたが、目に見える効果はありませんでした。そこでこのたび、東京メトロ南北線王子駅に発生する浸出水(地下水)を、王子桜橋から日量 85 m³放流することを決定しました(下図)。清浄な地下水を流すことによって石神井川の水質が改善されるよう、これからも様々なアイデアを駆使しながら努力していきたいと思います。



■皆様のご意見をお聞かせください。
 東京都議会議員 高木 けい事務所
 〒114-0022 北区王子本町 1-14-9-202 TEL 5948-6790 fax 5948-6791